

3 / 4 (日) 全国組織「ほうんネット」が発足しました！

「ほうんネット」とは、「"公立保育園民営化問題"保護者の運動交流ネットワーク」の略称です。

現在、公立保育園の民営化が急速に全国に広がりつつあります。

「ほうんネット」は、考えや意見を互いに尊重しながら、情報交換と相互援助を目的にした保護者を中心とするネットワークです。

ともに学び、ともに考えることを目的に、実際に公立保育園の民営化問題に関わってきた保護者や有識者が世話人となり、ほうんネットが設立されました。

★代表世話人★

佐藤正勝（横浜市立保育園民営化訴訟原告）

原 純子（練馬ふぼれん代表委員）

浅井春夫（立教大学教授）

猪熊弘子（ジャーナリスト）

*以下、ほうんネットのホームページより抜粋



子ども達に素晴らしい未来を。
私たち大人にできることは
ともに考え、ともに学ぶこと。

公立保育園の廃止・民営化が全国で進められています

現在、公立保育園の廃止や民営化、民間委託化が全国で進められています。このような流れに対して、全国で多くの保護者が「子ども達の最善の利益」や「子ども達の権利」を保障しようと立ち上がっています。しかしながら、こういった保護者の動きは、各自治体や各保育園単位に留まっているのが現状です。

公立保育園の民営化については様々な考え方があります

「民間が運営するほうがお金もかからず、より良いサービスが受けられるのではないか」「子ども達を保育することは社会の責任だから公的な保育施設を維持すべきだ」「保育園に入りたのに入れたい。保育園をもっと増やすにはコストが安い民間に委ねるしかないのでは?」「公立だからと安心して入った保育園なのに、途中で民営化するのは納得できない」などなど、様々な意見や考え方があります。

情報交換と相互援助を中心にした保護者のネットワーク

このように考え方が違うのは当然です。ほうんネットはこういった考えや意見を互いに尊重しながら、情報交換と相互援助を中心にした保護者のネットワークをつくり、ともに学び、ともに考えることを目的にしています。

この目的の実現に向けて、実際に公立保育園の民営化問題に係わってきた保護者や有識者、保育関係団体が世話人となり、ほうんネットを設立しました。

公立保育園の民営化に関する今の草加市の現状は？

★いきいき子育て応援プランそうか「次世代育成支援行動計画」によると…

「待機児解消のため民間保育園を新設」とありますが、公立保育園の民営化については、触れられていません。

★ただし草加市は、18年度より「指定管理者制度」を導入しており、直営である19公立保育園は、

「当面直営を継続する」とされていますが、今後公募による指定管理者制度が導入されないとも限りません。



身近なところでは、児童センターや児童クラブに次々と指定管理者制度が導入され、様々な意見や問題点が出されています。

私たち保育園保護者も、まずは「指定管理者制度とは?」「民営化って何?」など、学習を重ね、様々な情報をもっていることが大切です。その意味でも、皆さんも是非保育園保護者のネットワークである「ほうんネット」にアクセスしてみてください。

ほうんネット <http://members3.jcom.home.ne.jp/houn-net/>